

第三次東大和市子ども読書活動推進計画

[令和 5（2023）年度～令和 9（2027）年度]

令和 6 年度実施状況報告書



東大和市観光キャラクター うまべえ

令和 8 年 2 月

東大和市教育委員会

第三次東大和市子ども読書活動推進計画

[令和5（2023）年度～令和9（2027）年度]

令和6年度実施状況の報告

◆ はじめに

「第三次東大和市子ども読書活動推進計画」（以下「第三次計画」という。）は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項の規定に基づき、市内の様々な機関が相互に連携し、子どもの読書環境の整備を図ることを目的として、令和5年3月に策定したものです。

第二次東大和市子ども読書活動推進計画（以下「第二次計画」という。）の施策項目を引き継いで策定された第三次計画では、施策項目ごとに具体的な取組目標及び事業内容を明記し、関係各課・機関等における必要な取組や目標を分かりやすく示し、目標実現にむけて取組みやすい計画書を目指しました。

◆ 計画の進行管理について

第三次計画に基づく施策をより着実に実行していくため、関係各課・機関施設等による具体的な取組状況を調査し、その結果を報告書にまとめ、毎年公表します。

◆ 計画の取組状況について

本計画上の所管課のうち当該事業を主管事業としている課に対し、令和6年度中の取組状況等を調査しました。個々の事業の取組状況は3ページ以降に掲載しています。計画上の所管課ですが事業を実施していない課については、所管欄の課名に（ ）を付しています。なお保育課管轄事業については、類似の回答を集約した上で回答施設数を（○施設）と掲載しました。

令和7年4月1日に保健センター（健康推進課）の母子保健機能と子ども家庭支援センターの児童福祉機能を一体的に実施する子ども家庭センターを開設しました。また組織改正により市立公民館各館は生涯学習課の係になりました。本報告書においては、いずれも所管課名を旧課名で掲載しています。

本調査によって明らかになった関係各課・機関等による取組実態をもとに、今後さらに関係各課が連携しあい、計画推進へつなげていく必要があります。

◆ 施策項目及び目標数

施策項目		目標数		
		充実	継続	計
1 家庭・地域	（1）家庭	3	0	3
	（2）保育所・幼稚園・認定こども園等の子育て関連施設	2	2	4
	（3）児童館	1	2	3
	（4）学童保育所	1	2	3
	（5）保健センター	0	2	2
	（6）子ども家庭支援センター	0	2	2
	（7）公民館	0	2	2
	（8）郷土博物館	1	0	1

2 学校	小中学校	3	3	6
	高等学校	0	1	1
3 市立図書館	読書環境の整備	3	7	10
	対象別サービス	3	1	4
4 子どもの読書活動を支える人たち	文庫、読み聞かせ・おはなしのグループ、学習グループ	0	3	3
5 計画の進行管理	計画の進行管理	0	1	1
合計		17	28	45

◆ 各事業における目標達成度の集計

目標達成度については、第二次計画期間中の令和2（2020）年度調査から実施している調査方法を継承し、関係各課・機関等が「順調、おおむね順調、着手、未着手、中止」の5段階で自己評価を行っています。

1 子育て関連施設の目標達成度評価回答数（保育課管轄事業）

保育課の所管事業である施策項目1 家庭・地域の（1）家庭、及び（2）保育所・幼稚園・認定こども園等の子育て関連施設の施策について、市内の私立保育所・幼稚園・認定こども園等の子育て関連施設（26施設）及び市立狭山保育園から個別に回答がありました。

子育て関連施設の目標達成度別の評価回答数（施設数）は下表のとおりです。上記施策項目に対する保健センター、子ども家庭支援センター及び市立図書館の回答もここに含みます。

目 標 （事業数）	評価	順調	おおむね順調	着手	未着手	中止	無回答	合計
充 実 (5)		79	25	11	4	0	20	139
継 続 (2)		27	13	2	8	1	3	54
計		106	38	13	12	1	23	193

2 子育て関連施設の目標達成度評価以外の評価回答数

保育課管轄事業以外の目標達成度評価回答集計結果については下表のとおりです。複数の所管課・施設で管轄している同一事業があるため、事業数と回答数の合計は一致しません。

目 標 （事業数）	評価	順調	おおむね順調	着手	未着手	中止	合計
充 実 (12)		6	7	0	0	0	13
継 続 (26)		15	11	1	0	0	27
計		21	18	1	0	0	40

1 家庭・地域

(1) 家庭

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
ア 家庭での読み聞かせ	幼い子どもが本の楽しさを知り読書習慣を身に付けていくためには、身近な家族に本を読んでもらうことが効果的である。	保育課	<ul style="list-style-type: none"> ・園だより等で月間購読絵本や季節の絵本を紹介したり、絵本の展示・紹介を行い、家庭へのはたらきかけを行っている。(12施設) ・園文庫を通して家庭での読み聞かせを推奨している。(2施設) ・誕生会のプレゼントで絵本を渡している。(2施設) ・毎月季節や年齢に合った本を購入している。 ・年齢・発達に合わせ、その月に合った絵本を読み聞かせ、連絡ノートで知らせて家庭での読み聞かせの参考にしてもらっている。 ・読み聞かせの時間が親子の良い関わりの時間になることも伝えている。 ・各園児が保育活動の教材として絵本を活用した後、家庭に持ち帰っている。家庭でも読み聞かせをしてもらえようと呼びかける。 ・毎月季節の本を持ち帰っている。
		狭山保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に合った絵本や子どもの興味や関心がある本を用意して、手の届く場所に置き、手に取って楽しめるようにした。絵本の楽しみから、劇あそびへと広げ、ご家庭でも話題になっていた。0・1・2歳児あそび広場では、乳児絵本の紹介をした。
		中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館の絵本コーナーの本を随時購入することで入れ替えを行った。
イ 市立図書館等の利用	市立図書館や文庫を家族で利用することで、家庭での読書環境を整える。また、子ども自身が本を借りることで主体的な読書習慣が身に付く。	保育課	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・家庭に図書館の利用を働きかけている。(7施設) ・年長児が図書館見学で本を借りたりおはなし会を聞いている。(4施設) ・図書館が保育園から近いので、散歩の際に幼児組を中心に利用し、一人1冊選んで借りたり、おはなし会に参加して身近に感じられるようにしている。 ・子どもと一緒に図書館に出掛け、様々な絵本の中から絵本を探すことも楽しいことと勧めている。 ・絵本、紙芝居、大型絵本などを借りている。 ・図書館を利用することで沢山の本を見る機会ができ、興味、関心を持つ子どもが増えた。 ・図書館で借りた本を保育園内での読み聞かせにも使用し、身近にある図書館の存在を伝えていけるようにしている。 ・季節に合った絵本を紹介し子ども自身が本を借りる習慣を整えたい。 ・利用状況は家庭による。(2施設)
		狭山保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館までは距離があるので、近くにある狭山公民館の図書室を利用させていただき、子どもたちと本を借りてきて、園で楽しんだ。また、職員が借りてきた本を、子どもたちと一緒に楽しむ機会を多く持ったことで、好きな本が見つかり、ご家庭でも話題になった。
		中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・3～4か月健診の際のブックスタート事業で市立図書館の子ども用の利用申込書を配布し、図書館利用を促した。健診時等配布者：506人 ・乳幼児向けおはなし会のPRを積極的に行った。 ・小学校3年生の中央図書館見学会等で個人の利用カードの登録を行った。来館10校、769人

目標	目標達成度評価	評価理由
充実	順調（10施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施することができている。（8施設） ・貸出率が多く、リクエストもある。 ・絵本が楽しかったと感想が多い。
	おおむね順調（6施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施することができている。（2施設） ・乳児クラス保護者に対する働きかけはできているので、今後は幼児クラスの保護者に対する働きかけにも意識して取組んでいきたい。 ・随時紹介している。 ・家庭状況が異なる。 ・一通り保護者全員に絵本の紹介ができている。
	着手（3施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の推進という視点からのみで働きかけを行うことは、それほど積極的に行っていない。 ・本の楽しさを家庭でもできるような働きかけが継続的にできていない。 ・令和7年度から始めた活動なので様子を見ながら今後も継続したい。
	未着手（1施設）	・理由無記入
	無回答（6施設）	
	おおむね順調	・幼児組では、絵本の楽しみから劇あそびへと発展させ、ご家庭でも親しみを持っていただけるように伝えていった。
	順調	・随時入れ替えをすることで、棚を充実させることが継続的にできた。
充実	順調（8施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施できている。（6施設） ・恒例行事になっている。 ・絵本だけでなく、大型絵本や紙芝居などで変化。
	おおむね順調（6施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと利用した後保護者から利用したとの報告を受けている。 ・親子で図書館を利用している家庭は限られていると感じる。子どもたちへの促しを通してもっと図書館の存在、活用方法等も伝えていければと思う。 ・年齢が低いため利用頻度が低いが利用者数は増加傾向にある。 ・継続して紹介することができている。 ・図書館を利用する習慣を意識付けるため、図書館への訪問を定期的に促すことを実施できている。 ・状況に応じて行くので、継続して行いたい。
	着手（2施設）	・読書活動の推進という視点からのみで働きかけを行うことは、それほど積極的に行っていない。
	未着手（3施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の情報を入手し伝えることがまだできていない。 ・家庭に任せている。 ・各家庭が市立図書館をどのくらい利用しているのか現状把握から始める必要がある。
	無回答（7施設）	
	おおむね順調	・継続的に取組んでいる。
	順調	・ブックスタートで図書館の利用やおはなし会についてPRすることで、図書館利用につなげることができた。

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
ウ 乳幼児期の 子どものい る家庭への 働きかけ	関係機関や保育所等、直接家庭に関わる ことのできる機関が、 家庭での取組を継続し て後押しする体制を作 る。	保育課	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会・クラスのおたより等で季節・年齢に合った絵本の紹介を行っている。(10施設) ・テレビ等で紹介されている本の購入案内を配布した。 ・読み聞かせ講座等、本の選び方や年齢に合った選択ができるようなアドバイスをする。 ・休日に家族で図書館を利用しているという話を保護者からよく聞く。暑い夏の利用をさらに推進できるような声掛けを随時行っているところである。 ・寝る前のひと時の読み聞かせや決まった時間に本に触れる機会を作るなど保護者会や保育参加時に伝える。 ・絵本を読んだ後の子どもたちの様子を伝えることで、絵本の良さを知ってもらえるようにし、家庭での絵本を読み聞かせた感想を伝え合っている。 ・読書週間で園児の好みの絵本、園の購読の状況、園からの紹介絵本等を保護者に紹介している。 ・実施している。 ・園文庫を設けており、毎日貸出を行っている。 ・図書コーナーを拡充したため、家庭に開放し、貸出や読み聞かせボランティアなどを呼びかけるなど、今後検討していきたい。 ・毎月年齢に合った絵本を購入している。 ・毎月季節の本を持ち帰っている。 ・コロナ以降、できていなかった「絵本の貸出」の再開を検討している。 ・4、5歳児(11月からは3歳児も)が定期的にボランティアの方による「おはなし会」を楽しんでいる。
		狭山保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・段階的廃園で乳児がいないことから、地域の0・1・2歳児を園に招いて、お気に入りの絵本を子どもの手の届く場所に用意し、保護者と一緒に楽しめるように場を提供し、環境設定に努めた。また、保護者から、絵本の与え方についての相談にも対応した。 ・幼児組では、楽しんでいるお話を劇あそびにして、子どもの姿やお話のセリフを通してご家庭でも絵本の内容について話題にもらった。
		健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・3～4か月健診等においてブックスタートとして絵本等を配布した。 健診時配布者：506人
		中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートや講習会等を通して、家庭での読み聞かせの重要性を伝えた。 ・市立図書館で乳幼児向けのおはなし会を実施した。

目標	目標達成度評価	評価理由
充実	順調（11施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせの大切さを随時知らせている。 ・新入園児には絵本購読の紹介も行い利用している保護者もいる。 ・継続して実施することができている。（8施設）
	おおむね順調（3施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は、保護者への絵本紹介に留まっているところもあるので、もっと親子の関わりを継続的に後押ししていきたい。 ・就寝前のルーティンになっている家庭が多い。 ・継続して紹介することができている。
	着手（5施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の貸出再開に向けて、方法や必要備品の検討を行っている。 ・保育参加や保護者会等で子どもたちが普段親しんでいる本の紹介はできている。 ・紹介で規定はいるが、内容の充実が図れていない。 ・拡充した図書コーナーは、園児は大いに活用しているが、家庭にまで開放していない。これから家庭に情報提供して行く予定。
	無回答（7施設）	
	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に取組んだ。
	順調	<ul style="list-style-type: none"> ・健診事業を活用することで、子育て家庭に対して、効率的に絵本等が配布できたため。
	順調	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート時に保護者への情報提供を継続して行うことができた。 ・市立図書館での乳幼児向けのおはなし会を継続することができた。

(2) 保育所・幼稚園・認定こども園等の子育て関連施設

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
ア 読み聞かせ等の継続・充実	日々の活動の一環として、また、行事に合わせて、絵本や紙芝居の読み聞かせを継続して行い、絵本等と親しむ機会を増やす。 個々の子どもに合わせた読書活動を行う。	保育課 (中央図書館)	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や日常活動の中で子どもたちに絵本等を読むことを行っている。(19施設) ・昔話、伝承行事、保健、交通安全、言葉、環境、人間関係、年齢や季節、ねらいに合わせた絵本や紙芝居を読み聞かせている。 ・各年齢に合った絵本や紙芝居をクラスに用意し気軽に読めるようにしている。また活動の前など一日に一回以上は読み聞かせを取り入れている。 ・興味に合わせて一緒に調べたりもしている。 ・乳児・幼児ともに絵本の読み聞かせは自由あそびのなかで個人的に行っている。幼児は素話や道具を使った文学の集団活動を毎月数回行っている。乳児はわらべうたや詩・語呂合わせを個人的に行っている。2歳児クラスでは道具を使った短いお話を聞く活動を取り入れている。 ・基本文学の授業として素話、絵本は個々に読んであげている。また、午睡前に読んであげている。 ・おはなし会という読み聞かせボランティアをお願いしている。 ・一日の中で本を読む時間を設けたり、自由に本を読むスペースを確保している。 ・図鑑やなぞなぞ、折り紙、物語など子どもたちが興味を持っている本をクラスに用意している。 ・個別でスキップを図る手段になっていたり、午睡前に読む習慣がついている ・子どもが好きな絵本を用意し、リクエストに応じて読み聞かせを実施。
		狭山保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育の中で、絵本だけでなく紙芝居を読むなど、お話に触れる機会を持っている。また、お気に入りのお話を劇あそびにして、セリフのやり取りを覚えて役になりきって繰り返し楽しみ、小道具やお話の世界の背景画などもみんなで作り、お楽しみ会で発表した。
イ 読書環境の整備	各施設で絵本や紙芝居等の充実を図り、子ども・保護者・保育士が気軽に手に取ることのできる環境を整備する。	保育課 (中央図書館)	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や年齢等に合わせて購入している。(9施設) ・定期的に購入している。(2施設) ・子どもたちや保護者が自由に絵本を選べるよう、各クラスや玄関など取りやすい位置に配置している。(14施設) ・絵本コーナーを拡充して絵本に親しむ環境を整えた。 ・大人が読み聞かせるための本(本棚)、子どもが自分で選んで読める本(本棚)を設置している。 ・絵本がたくさん蔵書してある書庫がある。いつでも見たい本を提供できるようになっている。 ・本の入替・補充を定期的に行う。(2施設) ・各クラス年齢にあった絵本を担当が一定期間で入れ替えを行っている。 ・子どもたちが安全に取れるよう見守り、絵本の扱い方も年齢に合わせて伝えている。 ・保育園内に貸出図書を設置している。(2施設) ・家庭への絵本の貸出事業を検討中。 ・季節ごとの絵本の入替え、担当を決めて『本』を意識する。 ・保護者には読書週間に紹介している。 ・紙芝居は利用していない。
		狭山保育園	絵本や紙芝居の入れ替えなど整理をして、クラスの中で、絵本コーナーを作り、子どもたちが、すぐに手に取れて楽しめるようにした。

目標	目標達成度評価	評価理由
充実	順調（24施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施することができている。（13施設） ・給食前や午睡前に絵本の読み聞かせを実施できている。（3施設） ・日々の読み聞かせは継続充実しているので、園児は読み聞かせを身近に感じている。ごっこ遊びの中で読み聞かせの真似をしたりもしている。 ・毎年、子どもたちが楽しみにしている行事になっている。 ・お話を聞いた後の再現遊び等の姿が見られる。お話の中の世界を楽しんでいる様子がうかがえる。 ・はじめは保育者と一緒に見ていたものを子ども同士で共有する様子が見られるようになってきている。 ・絵本はどのクラスも子どもたちの手の届くところに置いてあり、親しみやすい物として、子どもたちの生活環境にある。大人が読み聞かせる本として、絵本が別にあり紙芝居を含め行事にちなんだ読み聞かせも実施している。 ・各年齢ごとに担当が意識して実施中。 ・教員は講師を招いて園内研修を開催し、絵本の意義や読み聞かせの大切さを学んだ。
	おおむね順調（2施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・継続し実施している。 ・本に触れる機会は日々の保育の中で積極的に設けることができている。
	順調	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に取組んだ。
充実	順調（21施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施することができている。（11施設） ・定期的に購入している。（2施設） ・図書コーナーを新設して絵本により親しめるようにした。 ・保育室内の子どもたちの目につきやすい場所に絵本を置くことが実施できている。 ・時間が空くと絵本を楽しむことが習慣になっている。 ・絵本の貸出日を楽しみにしている。 ・日々貸出を行っている。 ・子どもに合わせて整備できている。 ・年間購読本、季節に合わせた購読本、提携園との連携（提携園から定期的に借りている）による紙芝居の充実、園児への絵本プレゼントなど充実している。 ・スペース的なこともあり十分に用意はできないが入替を心がけている。
	おおむね順調（4施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して購入を行っている。 ・継続して月刊誌を購入したり、職員の希望で購入したりしている。どのクラスも子どもが手に取れるところに置いてあり、幼児では廊下にも絵本棚があるので保護者も見ることができる。 ・園内での取組みは継続して実施できている。家庭へ向けての取組（絵本の貸出）を検討中。 ・古い本は修理しながら大切にしているが人気のある本は定期的に購入している。
	着手（1施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもはいつでも手に取れる機会を設けているが、保護者が触れられる機会がまだ充実していない。
	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に取組んだ。

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
ウ 関係機関との連携	市立図書館に親しむ機会を積極的に作る。	保育課 (中央図書館)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館見学で本を借りたりおはなし会に参加している。(11施設) ・年長児を対象に図書館訪問を毎年行い、学期ごとに団体貸出を行っている。 ・散歩の際に図書館を頻繁に利用している。 ・昨年度図書館を利用し、今年度も利用する予定である。 ・市立図書館に行き本を借りる、読書するなど、市立図書館へ足を運び親しみを持つ。 ・市立図書館を訪れ、定期的に絵本を借り、子どもたちに読み聞かせる。 ・園として借りている。 ・中央図書館が近くになったが、新青梅街道を渡らなければならないので、保育園としての利用は少なくなった。保護者には伝えている。 ・年間を通じて、ボランティアの方による「おはなし会」を行っている。 ・0・1歳児のため、図書館等へ行くことは難しい。 ・市立図書館は0・1・2歳なので利用していないが、機会を作るようにしていこうと思っている。 ・実施なし(3施設) ・現在はしていない。 ・集団で行くことはない。
		狭山保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児が図書館見学に参加した。地域の方を招いて素話と絵本の読み聞かせを3回実施していただいた。
エ 保護者との連携・働きかけ	読み聞かせや読書の大切さ、意義について保護者に対し広く周知する。	保育課 (中央図書館)	<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりやクラスだより、保護者会等で、人気の本やおすすめの絵本等を紹介したり、絵本に親しむことの大切さを知らせている。(14施設) ・園文庫のコーナーで紹介の本と共にメッセージを添え伝えている。 ・玄関におすすめの本を紹介している。おすすめした本の貸出を行っている。行事の由来など絵本、紙芝居を通して行っている。 ・人気のある本の紹介だけでなく、読書の大切さや子どもの知識や好奇心を育てる大切なものとして伝えている。 ・クラス内で子どもに人気の絵本を掲示している。 ・その日に読んだ絵本を保護者の送迎時に見える棚に置いて自由に見てもらっている。 ・園での文学活動のねらいや活動内容の周知は行っている。読み聞かせや読書の大切さを直接的に周知することはしていない。 ・図書貸出を通して子どもたちが何が好きなのかなど話す機会が増えた。 ・本の紹介や読み聞かせ講座を行い、本の楽しさを伝える。 ・読書週間に園児の好みの絵本の紹介、保育者からの紹介、園の購読本の紹介などを行っている。 ・送迎時に保護者との会話の中で情報共有を行う。 ・連絡ノートで読み聞かせた絵本を毎日記入し伝え、絵本の大切さ、良さを知らせている。 ・自宅での絵本との触れ合いについて、定期的に保護者にヒアリングしている。 ・毎月絵本を持ち帰っている。
		狭山保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方に絵本の購入についての案内をお配りし、園の方で定期的に絵本の購入を行い、読み聞かせを楽しんだ。

目標	目標達成度評価	評価理由
継続	順調（11施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施することができている。（8施設） ・恒例行事になっている。 ・2か月に1回程度、図書館へ出向き本を借りたり読んだりする機会を設けることができている。 ・絵本など長期利用ができるので助かる。
	おおむね順調（5施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施することができている。（2施設） ・利用頻度はそれほど高くない。必要に応じて利用している。図書館見学会には毎年年長児が参加し、良い体験になっている。 ・中央図書館が近いが保育園前の道は歩道もなく道幅も狭いので、利用を躊躇している。年長児には図書館の利用方法を伝える為イベント等には参加している。 ・状況に応じて行くので、継続して行いたい。
	未着手（7施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・未実施のため。 ・子どもが歩いて行かれる範囲に図書館がない。 ・自園の購読本の他に、提携園との連携（提携園から定期的に借りている）で、絵本や紙芝居は充実している。 ・年齢的に困難。（3施設） ・子どもたちの体調不良などがあり、図書館の訪問ができていない。
	中止（1施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館は現在は使用していない。
	無回答（2施設）	
	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児を対象に継続的に取組んだ。
継続	順調（16施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施することができている。（10施設） ・毎年一定の評価を得ている。 ・家庭では、スマホ・YouTubeと親子の触れ合う時間が少なくなり子どもの言語・社会性が停滞していると感じている。そのために絵本と活用して親子の触れ合う時間を大切にしたいと取組んでいる。 ・誕生プレゼントは好評で、読書週間の掲示物を通して保育者とのやり取りも充実している。 ・自宅での絵本との触れ合いについて、定期的に保護者にヒアリングすることができている。 ・保護者へ絵本や取組みの様子などの情報を提供できている。
	おおむね順調（7施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でどのような絵本との触れ合い、親しみ方をしているのか、その頻度についても聞き取りを行っていききたい。 ・保育園では絵本をよく読んでいます子も家ではゲームが多い話を聞くので家庭でも絵本をもっと取り入れてほしい。 ・保護者にも絵本の年間購読のチラシを配布し、保護者も園に希望を出すことで年間購入ができ、園から絵本を渡している。クラス便りで勧めている。 ・継続して実施することができている。 ・毎回の実施ではない。 ・子どもが好きな絵本などを保護者の方と情報共有を図っている。
	着手（1施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ講座を今年度はまだ開催できていない。本の紹介はできているため着手の評価。
	未着手（1施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・園の保育内容や活動について理解してもらうことを優先的に行っている状況。
	無回答（1施設）	
	着手	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの様子を伝える中で、絵本の紹介をしていく。

(3) 児童館

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
ア 読書環境の整備	幅広い分野の本を揃え、子どもの読書要求に応える。	青少年課 (中央図書館)	・施設内図書の充実
イ 読書事業	子どもの年齢に合わせ、子どもや保護者が本に親しむ機会を作る。	青少年課 (中央図書館)	・児童館職員やボランティア、乳幼児サークル指導員による読み聞かせの実施
ウ 関係機関との連携	子育て支援事業の一環として、市立図書館との連携を図る。	青少年課 (中央図書館)	・乳幼児を対象とした絵本の読み聞かせ、絵本に関する情報提供

(4) 学童保育所

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
ア 読書環境の整備	幅広い分野の本を揃え、子どもの読書要求に応える。	青少年課 (中央図書館)	・施設内図書の充実
イ 読書事業	日々の保育の中で、読書を取り入れることを心がける。	青少年課 (中央図書館)	・帰りの会に読み聞かせや紙芝居での読み聞かせの実施、月1回児童館主催の読み聞かせに参加
ウ 関係機関との連携	市立図書館との連携を図り、読書環境の充実に努める。	青少年課 (中央図書館)	・市立図書館の団体貸出の利用

(5) 保健センター

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
ア ブックスタート事業の継続	子どもが本に親しむための事業等を継続する。	健康推進課 (中央図書館)	・3～4か月健診等においてブックスタートとして絵本等を配布した。 健診時等配布者：506人
イ 関係機関との連携	保護者に読書への関心を高めてもらえるよう働きかける。	健康推進課 (中央図書館)	・健診事業で紹介等ができるよう検討した。

目標	目標達成度評価	評価理由
充実	順調	・新規図書の購入及び市立図書館の除籍資料の活用を行った。児童館利用者のニーズに合わせた図書の購入ができた。
継続	順調	・乳幼児、小学生を対象に実施した。行事等の導入でも読み聞かせを採り入れた。絵本に対して興味を持つ児童が増えた。
継続	順調	・家庭で読み聞かせをしている保護者が多く、読み聞かせのポイントや注意点の説明を受けられる場として有効だった。

目標	目標達成度評価	評価理由
充実	おおむね順調	・昨年度に引き続き、施設内図書の充実を行った。
継続	おおむね順調	・委託事業者による、読み聞かせを実施した。また、児童館イベントの読み聞かせへ参加した。
継続	おおむね順調	・毎月、各クラブで50冊程度利用している。

目標	目標達成度評価	評価理由
継続	順調	・健診事業を活用することで、子育て家庭に対して、効率的に絵本等が配布できたため。
継続	着手	・健診事業を活用することで、子育て家庭に対して、絵本や図書館の案内ができるため。図書展示等については、健診時のレイアウト等を加味しながら検討中。

(6) 子ども家庭支援センター

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
ア 読み聞かせ や貸出事業 の継続・充 実	子どもと保護者が本 に親しむ環境づくりに 努める。	子ども家庭支援 センター (中央図書館)	・交流スペース「かるがもひろば」では、イベント時やボランティアが地域活動として絵本の読み聞かせを行った。また、絵本コーナーを設置し、絵本の貸出も行った。 貸出冊数：7冊 利用人数：4人 ・一時保育室では子ども家庭支援センターの蔵書に加え、市立図書館の団体貸出を利用して、常時、絵本や紙芝居を30～40冊ほど準備している。朝の会、昼食や午睡の前及び3時の会で1回につき、季節や利用児童の年齢・活動に合わせ、2、3冊の絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうたや童謡を歌うなどを行った。また、当日読んだ絵本を室内に展示することと合わせて、曲名と絵本の書名を連絡票に記載し、家庭との共有に努めた。 ・出張かるがもひろばでは、ボランティアや担当保育士による絵本の読み聞かせを実施し、保護者にも読み聞かせを働きかけた。
イ 関係機関と の連携	市立図書館や、ボラ ンティアとの連携を図 る。	子ども家庭支援 センター (中央図書館)	・一時保育室では子ども家庭支援センターの蔵書に加え、市立図書館の団体貸出を利用して、絵本等を用意している。 ・保育園の職員が来館して実施する「わくわく保育」での絵本の読み聞かせも実施した。 回数：6回 参加人数：43組 97人 ・かるがもひろばでのイベントや出張かるがもひろばの場で、文庫等と連携して読み聞かせを実施した。

(7) 公民館

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
ア 読書環境の 整備	子どもたちの読書活 動に繋がる事業に取組 む。	中央公民館 (中央図書館)	・寄贈本を蔵書として受け入れ、資料の充実を図った。 ・蔵敷あそび広場で4回、子どもフェスティバルで1回読み聞かせを実施した。
イ 関係機関と の連携	市立図書館や読書に 関する自主グループと の連携を図る。	中央公民館 (中央図書館)	・新紙幣の人物に関する公民館講座の募集及び実施期間に合わせて、中央図書館において新紙幣に関する図書展示を実施した。

(8) 郷土博物館

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
ア 読書環境の 整備	子どもたちの読書活 動に繋がる事業に取組 む。 市立図書館との連携 を図る。	郷土博物館 (中央図書館)	・事業の中で絵本の読み聞かせ、絵本をはじめとした書籍の紹介（自然観察だよりなどで）を行った。 ・企画展示室に、展示内容に関連する書籍を展示した。

目標	目標達成度評価	評価理由
継続	順調	・かるがもひろば及び一時保育室の活動を通じて、適宜、絵本の読み聞かせや保護者への普及啓発を図ることができた。
継続	順調	・関係機関やボランティアと連携して、絵本の読み聞かせや保護者への普及啓発を図ることができた。

目標	目標達成度評価	評価理由
継続	おおむね順調	・寄贈本の受入を行い、資料の充実を図ることで、子どもたちの学びを支援することにつながったため。 ・蔵敷あそび広場及び子どもフェスティバルで継続して読み聞かせを行い、子どもたちに読書の楽しさを知ってもらう機会となったため。
継続	おおむね順調	・講座に係る図書展示を図書館で実施したことにより、講座を知ってもらうこと及び受講者が講座内容の理解をより深めることにつながったため。

目標	目標達成度評価	評価理由
充実	おおむね順調	・事業中に紹介した書籍のタイトルをメモしたり、図書館に予約したという声も聞かれたため。 ・展示室で関連書籍を読んでいる姿が見られたため。

2 学校

(1) 小中学校

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
ア 読書習慣の 定着	児童・生徒に読書を身近に感じてもらえるよう努める。	教育指導課 (教育総務課) (中央図書館)	・読書週間、読書月間の実施等(小学校10校、中学校5校) ・朝読書や読書旬間の期間を設けて、読書習慣の定着を図った。
イ 読書指導の 充実	読書をしない児童・生徒に対し、読書意欲が向上するような取組を行う。	教育指導課 (教育総務課) (中央図書館)	・教師や、児童・生徒による本の紹介等を通じて、児童・生徒が本に親しむことができる活動を実施した。
ウ 調べ学習への 取組	学校図書館の資料を活用した調べ学習に対応するために、幅広い資料を収集する。また、インターネットも含め、情報収集の能力を育てる。	教育指導課 (教育総務課) (中央図書館)	・児童・生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成に向けて、本の探し方や調べ方の指導、学校図書館の利用方法の指導を実施した。
エ 学校図書館の 整備	「学校図書館5か年計画」等を参考に、学校図書館の整備、充実を図る。 児童・生徒の興味・関心に応じた資料や、調べ学習に必要な資料の収集・除籍により蔵書構成を充実させ、学校図書標準を達成する。	教育総務課	・学校の廃棄図書を精査して、児童・生徒の興味・関心が高いものを選書した。 ・最新の情報が載った書籍で調べ学習ができるよう、授業で使用することを想定して書籍を選定した。 ・児童・生徒が本を選びやすいように、書架を整備し、配置を工夫した。
		教育指導課 (中央図書館)	・児童・生徒や教員のニーズに応じて、児童・生徒の興味・関心に応じた資料や調べ学習に必要な資料の収集や除籍等を実施した。また、児童・生徒の興味を引き出す図書展示の工夫を行った。
オ 他機関等との 連携	市立図書館と連携し、児童・生徒の読書環境の向上を図る。 図書管理システムによる学校図書館運営の効率化を図る。	教育総務課	・「サポートデスクによる図書管理システムの保守」については、図書管理システムのサポートデスクと保守契約をした。
		教育指導課 (中央図書館)	・市立図書館でのおはなし会や見学会等を実施した。また、小学校図書部会や学校図書館活用推進委員会等で、市立図書館職員や他校の司書教諭、図書館指導員との情報交換を実施した。
カ 読書活動を 支える人材	司書教諭、図書館指導員を中心に、学校全体として児童・生徒の読書活動を支える。	教育指導課 (教育総務課) (中央図書館)	・配置した学校図書館指導員と司書教諭等が連携し、各学校において学校図書館の運営を行った。

(2) 高等学校

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
ア 読書環境整備	学校図書館に生徒の興味関心のある資料を収集し、生徒が気軽に利用できる環境を整備する。 生徒の市立図書館利用の促進を図る。	中央図書館 (各高等学校)	・市内の高等学校へ、市立図書館職員が薦める本のリストを年に2回配布した。

目標	目標達成度評価	評価理由
継続	おおむね順調	・各学校の実態に応じて、適切に実施されていたため。
充実	おおむね順調	・各学校の実態に応じて、適切に実施されていたため。
充実	おおむね順調	・各学校の実態に応じて、適切に実施されていたため。
充実	おおむね順調	・一部、学校図書標準を達成していない学校があったため、全校達成に向けて、蔵書構成を充実させた。
	おおむね順調	・各学校の実態に応じて、適切に実施されていたため。
継続	順調	・図書の検索や貸出の管理等、学校図書館の運営するに当たり、保守契約をすることで、図書管理システムを円滑に使用でき、効率化が図られた。
	おおむね順調	・市立図書館との連携が図ることができ、各校の取組や工夫等を共有することができたため。
継続	おおむね順調	・各校において、学校図書館に関する取組について、司書教諭をはじめ図書館指導員及び教職員間で連携を図ることができていたため。

目標	目標達成度評価	評価理由
継続	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・リストの配布を継続して行うことができた。 ・情報交換の場を設定できなかった。

3 市立図書館

(1) 読書環境の整備

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
ア 全域サービス	市立図書館から遠い地域へのサービスの拡充を図る。	中央図書館	・公共施設受取サービス（公民館や市民センターで予約資料を受取できる）を継続して実施している。延べ利用人数・貸出冊数：（個人）898人 1,842冊 （団体）2団体 10冊
イ 子ども読書活動の支援	学校や関係機関と連携し、子どもに本の楽しさを伝えるための活動に対する支援を継続する。	中央図書館	・学校からの依頼により、調べ学習や学級文庫等の団体貸出を行った。 ・学童保育所へ団体貸出資料の配送を行った。（年間合計6,600冊） ・学校等で読み聞かせをする人を対象にした読み聞かせ講習会「子どもたちに絵本を読む」を実施した。参加者：9人 ・PTAや児童館からの依頼により読み聞かせについての出前講習会を行った。 ・市内の子どもの読書に関わる団体の活動をまとめた「子どもの読書に関わる団体活動報告書 令和5年度」を作成した。 ・「東大和文庫連絡会」の毎月の例会を中央図書館で行い、担当職員も出席し情報交換を行った。 ・「東大和文庫連絡会」と共催で講演会「絵本を楽しく読みましょう」を実施した。参加者：16人 ・希望する学校や児童館等に市立図書館の除籍資料を譲渡した。
ウ 図書資料の充実	子どもたちがより良い本と出会えるよう、内容や装丁等細かいところに留意しながら丁寧に選書を行い、資料の収集と保存に努める。	中央図書館	・収集方針に基づき資料の選定を行い、蔵書の充実を図った。
エ 職員	子どもと本を結び付けるための要となる児童サービス担当職員の専門性の向上に努める。	中央図書館	・都立図書館等で行われた外部研修への参加や、内部での勉強会を実施した。
オ 広報活動	多方面からの事業や資料の情報の発信を行い、子どもたちの市立図書館利用を促進する。	中央図書館	・子ども向けの利用案内やおはなし会等の行事のチラシ配布及びポスター掲示を行った。 ・市立図書館ホームページ内の「こどもページ」「ヤングアダルトページ」を必要に応じて更新した。 ・図書展示の紹介や行事案内等を市公式SNSに掲載した。 ・各館で季節や行事に合わせた図書展示を随時行った。
カ おはなし会	子どもが、本やおはなしの世界に親しめるよう、ボランティアと協働しておはなし会を実施する。	中央図書館	・各館で対象年齢別におはなし会を実施した。 中央：0～2歳前後 7回 109人 4歳以上 23回 145人 小1以上 23回 181人 大人 10回 168人 桜が丘：3歳以下 20回 221人 3歳以上 7回 43人 4歳以上 21回 112人 清原：3歳以下 20回 137人 4歳以上 24回 67人 大人 11回 38人

目標	目標達成度評価	評価理由
継続	おおむね順調	・ 図書館から遠い地域に住む利用者の利便性が向上している。
継続	順調	・ 学校や児童館等の関係団体との連携や支援を継続できた。
充実	順調	・ 毎週の選書会議を中心に計画的に資料を購入することができた。
充実	順調	・ 研修や勉強会に参加することで、研鑽を積むことができた。
継続	順調	・ 利用案内やチラシの配布を継続して行うことができた。 ・ 市公式SNSを利用した情報の発信を行うことができた。 ・ 季節や時事に合わせた図書展示を各館で行うことができた。
継続	順調	・ 各館で継続しておはなし会を実施することができた。

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
キ 市立図書館 見学会	子どもたちに市立図書館や本に親しみを持ってもらえるよう、市立図書館の見学会を行う。	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園・幼稚園年長児対象の市立図書館見学会を実施した。 中央 : 10園 278人 桜が丘 : 1園 20人 清原 : 4園 169人 ・小学校3年生対象の見学会を中央図書館で実施した。 参加 : 10校 718人 ・学校からの依頼により小学校2年生対象の見学会を清原図書館で実施した。 参加 : 1校 51人 ・読書旬間に合わせ、清原図書館にクラスごとに来館し、本の貸出を行った。 参加 : 1校
ク ブックリスト	東大和文庫連絡会と協働で作成した、年齢に合わせた絵本のリストを配布する。 市立図書館職員がおすすめる本のリストを作成・配布する。	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に合わせたブックリストを希望者に配布した。 ・夏休みと冬休みに合わせ、市内小中学校および高等学校へおすすめる本のリストを作成し配布した。
ケ 子どもの居 場所づくり	子どもたちが気軽に図書館を利用できる環境を整える。	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが自由に本を選べるように環境を整え、本の入替えも随時行った。 ・中央図書館2階にフリースペースを設け、利用目的や年齢を問わず、誰でも自由に読書や自習等で利用できるようにした。
コ 関係機関と の連携	子どもが本と出会う機会を増やせるよう、関係機関と連携を図る。	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・3・4か月健診時のブックスタート事業に図書館職員が出向いて説明を行った。 ・学童保育所へ毎月50冊ずつ団体貸出資料の配送を行った。 ・児童館からの依頼により、絵本の講習会「親子で読もう楽しい絵本」を行った。 参加者 : 6組 12人 ・学校図書館活用推進委員会に出席した。 ・小中学校の教職員向けに、市立図書館の利用案内を配付した。 ・小中学校と連携し、「第1回 東大和市 図書館を使った調べる学習コンクール」を実施した。 ・調べ学習等で依頼のあった学校への団体貸出 件数 : 98件 冊数 : 3,122冊 ・小学校からの依頼により出前おはなし会やブックトークを行った。 校数 : 3校 ・総合的な学習の一環として小学校からの依頼に応じて職場体験を受入れた。 人数 : 1校 4人

目標	目標達成度評価	評価理由
継続	順調	・各館で見学会を継続して実施することができた。
継続	順調	・継続してリストの配布を行うことができた。
継続	順調	・子どもたちが安心して利用できるよう環境を整えることができた。
充実	順調	・子どもの読書環境を整えるために、関係機関と連携を図ることができた。

(2) 対象別サービス

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
ア 乳幼児	小さなころから絵本に親しんでもらえるよう、乳幼児の周りにいる大人への働きかけを積極的に行う。 親子で安心して過ごせる環境を整える。	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・3・4か月健診時のブックスタート事業で、保護者に絵本の読み聞かせについて説明をしながら絵本等を手渡した。 ・3歳児健診時にセカンドブックスタート事業として市立図書館の利用案内とおすすめ本リストを配布した。 ・乳幼児向けのおはなし会を各館で実施した。 ・桜が丘図書館では乳幼児親子を対象に「さくらがおか赤ちゃんサロンへようこそ！」を実施した。参加者：大人6人 子ども6人 ・清原図書館ではおはなしの部屋を使用していないときに部屋を解放し、親子で絵本を楽しんでもらえるようにした。 ・乳幼児向けの絵本を随時購入した。
イ 小学生	自分で本を読み、選ぶようになった子どもたちの手助けをし、本と出会う機会を増やす。 学校との連携を深める。	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの興味に応えられるように、幅広い分野の資料を収集した。 ・1日図書館員を各館で実施した。人数：中央12人 桜が丘2人 清原2人 ・地区館では小学生対象の行事を実施した。
ウ ヤングアダルト（中高生）	児童書から一般書への移行時期となる世代に向け、充実した読書ができるよう働きかける。 同世代のコミュニケーションの場となるよう努める。	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングアダルトコーナーの資料の入替を随時行った。 ・中学校からの依頼により職場体験を受入れた。人数：中央2校、7人 清原2校、4人 ・小学校高学年から高校生までが発表できるビブリオバトルを実施した。発表者：8人（中学生） 観戦者：42人 ・中学生以上の進学希望の利用者を対象に、中央図書館レファレンス室の自習利用を開始した。
エ 特別な配慮を必要とする子ども	本を読むことに支援が必要な子どもたちに対し、読書の楽しさを伝える。	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい言葉で書かれたLLブックや布の絵本等を受入れ、貸出を行った。 ・外国語で書かれた資料を受入れ、貸出を行った。 ・中央図書館の児童開架に「りんごの棚」コーナーを設置し、マルチメディアデイジーや点字つき絵本、布の絵本等を集めて紹介すると同時に貸出を行った。また障害のある市民への市立図書館が行っているサービスを紹介するチラシを常設し、PRを行った。 ・中央図書館開館40周年記念事業として、録音図書や点字つき絵本などの展示・紹介及び手話付きおはなし会のイベントを実施した。参加者：13人 うち子ども5人 ・市外の特別支援学校PTAの求めに応じ、講習会「障害を持つ子どもへの読み聞かせについて」を行った。参加者：7人

目標	目標達成度評価	評価理由
充実	順調	・乳幼児親子に向けて絵本を楽しんでもらえるように働きかけを行った。
継続	おおむね順調	・資料の収集や小学生対象の行事を継続して実施できた。 ・新1年生への利用案内の配布ができなかった。
充実	おおむね順調	・市内中学校から依頼により職場体験の受入れを継続した。 ・ビブリオバトルの実施により、中高生の読書への興味を高めた。 ・中央図書館レファレンス室での自習利用を開始したことで、学習の支援ができた。 ・新1年生への利用案内の配布ができなかった。
充実	順調	・本を読むことに支援が必要な子どもに対するサービスをPRすることができた。 ・手話付きおはなし会イベントを実施することができた。

4 子どもの読書活動を支える人たち

(1) 文庫

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
文庫	家庭や地域の施設で、地域の子どもたちに本の楽しさを伝えることにより、市内の子どもの読書環境を向上させる。	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で文庫活動を月に1回程度実施することができた。 ・「東大和文庫連絡会」の定例会を月に1回程度開催した。 ・「東大和文庫連絡会」と市立図書館との共催で講演会「絵本を楽しく読見ましょう」を実施した。参加者：16人

(2) 読み聞かせ・おはなしのグループ

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
読み聞かせ・おはなしのグループ	子どもが本やおはなしの世界に親しめるよう、各所で絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行う。	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館や学校、市内保育所等でおはなし会を実施した。 ・各グループでの活動を通して人材育成を図った。

(3) 学習グループ

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
学習グループ	<p>子どもの本について学びを深めるとともに、市立図書館や学校等でボランティアとして活動する。</p> <p>子どもの本についての研究を行い、子どもの本への理解を深める。</p>	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・「令和6年度 子どもの読書に関わる団体活動報告書」を作成した。 ・各グループでストーリーテリングや絵本の読み聞かせの勉強会を定期的に実施した。 ・子どもの本を題材とした読書会を6回実施した。 ・市立図書館でのわらべうたのボランティア養成を目的とした勉強会を月に1回程度実施した。

5 計画の進行管理

施策項目	取組目標	所管	令和6年度取組状況
計画の進行管理	計画を推進し、子どもの読書環境の拡充を図る。	中央図書館	・「第三次東大和市子ども読書活動推進計画 令和5年度実施状況報告書」を作成し公表した。

目標	目標達成度評価	評価理由
継続	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・文庫活動が減少している。 ・「東大和文庫連絡会」として、市内の子どもの読書環境の向上のために活動した。

目標	目標達成度評価	評価理由
継続	順調	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループで活動を継続することができた。

目標	目標達成度評価	評価理由
継続	順調	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関に調査を行い、報告書を作成することができた。

目標	目標達成度評価	評価理由
継続	順調	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関に進捗状況調査を行い、令和5年度の実施状況報告書を作成することができた。



第三次東大和市子ども読書活動推進計画
〔平成5(2023)年度～令和9(2027)年度〕
令和6年度実施状況報告書

発 行 令和8年2月
東大和市教育委員会

編 集 東大和市 教育部 中央図書館
〒207-0015
東京都東大和市中心3丁目930番地
電 話 042(564)2454
FAX 042(564)2425